2021 年 3 月 9 日

PhillipCapital
Your Partner In Finance

フィリップ証券株式会社

シンガポール航空（SIAL）

新型コロナワクチン輸送の国際物流拠点化、出発前検査から陰性デジタル証明までの提供で、国際便増便が追い風へ

シンガポール | 旅客航空| 業績フォロー

BLOOMBERG SIA:SP | REUTERS SIAL.SI

- 2021/3期3Q（10-12月）は、総収益が前年同期比76.1%減、純利益が赤字転落。前四半期比は、総収益が36.3%増、純利益が赤字幅縮小。
- 前四半期比は、旅客定員数や輸送距離の増加、および貨物輸送が業績改善に貢献。また、昨年3月末比で資金面など財務内容が改善。
- 新型コロナワクチン輸送の国際物流拠点化、および出発前検査から陰性デジタル証明までの提供で国際便増便の追い風が見込まれる。

What is the news？

2/5発表の2021/3期3Q（10-12月）は、総収益が前年同期比76.1%減の10.67億SGD、総支出が同65.2%減の13.98億SGD、純利益が前年同期の3.15億SGDから▲1.42億SGDへ赤字転落。コロナ禍に伴う国境を跨ぐ移動規制が続いたことが響いた。その一方、前四半期比は、旅客定員数や輸送距離の増加、および貨物輸送の貢献により、総収益が36.3%増、純利益が前四半期の▲23.44億SGDから▲1.42億SGDへ赤字幅縮小と改善を示した。また、昨年12月末の自己資本（純資産）が昨年3月末比63億SGD増の157億SGD、現金及び銀行預金残高が同44億SGD増の71億SGD、負債比率が同0.49ポイント改善（低下）の0.78倍と、財務体質が強化された。

セグメント別の業績（除くMROサービス）は以下の通り。①親航空会社は、有効座席キロ数当たり収入（RASK）が前年同期比69.3%減、旅客1人当たり1キロ当たり収入単価（イールド）が同83.5%上昇、座席利用率（Load Factor）が同71.3%ポイント低下の14.3%。②近距離路線向け総合サービス提供の子会社シルクエアーは、RASKが同1.1%減、イールドが同2.2倍へ上昇、座席利用率が同45.3%ポイント低下の36.2%。③格安航空子会社スクートは、RASKが同37.3%減、イールドは非公表、座席利用率が同75.3%ポイント低下の11.8%。④貨物輸送（Cargo）は、イールドが同2.1倍へ上昇、座席利用率が同25.2%ポイント上昇の86.6%となった。

How do we view this？

3/4よりボーイング737-800型機タイ・プーケット便をシルクエアーから親航空会社へ移管開始。規模の経済により業績への貢献が見込まれる。

貨物輸送部門は、昨年12月に最初の新型コロナワクチンの輸送に成功後、世界中に新型コロナワクチンを輸送する国際物流のハブとなることを目指している。シンガポール・チャンギ空港には、1日当たり4,000人を接種できる予防接種センターが設置される予定であり、出発前検査から陰性デジタル認証に至るまで一貫提供できる体制を整えつつある。また、2/11、同社CEOは、乗務員全員が新型コロナワクチンを接種する、世界初の完全ワクチン接種済みの航空会社になると発表した。

今年1月からドバイ、モスクワ、ミュンヘンへのサービスを再開し、既に運行しているアメリカ、ヨーロッパ、南アフリカを中心に増便する予定のほか、今年3月から羽田への運航も再開。業績への追い風となろう。

業績推移　※参考レート 1SGD=80.62円

事業年度	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3F	2022/3F
売上高（百万SGD）	15,806	16,323	15,975	3,854	9,105
当期利益（百万SGD）	1,301	682	-212	-3,839	-456
EPS（SGD）	0.77	0.40	-0.13	-1.29	-0.10
PER（倍）	6.69	12.88	-	-	-
BPS（SGD）	7.55	7.80	5.54	4.44	4.50
PBR（倍）	0.68	0.66	0.93	1.16	1.14
配当（SGD）	0.28	0.21	0.06	0.00	0.00
配当利回り（%）	5.47	4.10	1.10	0.00	0.00

（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg）

配当予想（SGD）	0.00	（予想はBloomberg）
終値（SGD）	5.15	2021/3/8

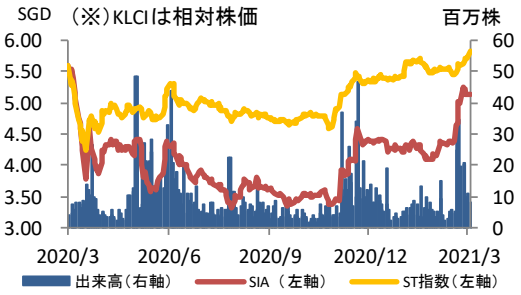
会社概要

1947年に「マラヤンエアウェイズ」として創業。その後、1972年にマレーシア航空と分離して設立。同社グループは親航空会社のシンガポール航空、シルクエアー、スクート、SIAカーゴ、SIAエンジニアリングで構成される。

①親航空会社のシンガポール航空（SIA）は、シンガポール航空ブランドを展開し、旅客にフルサービスの航空輸送を提供する。②子会社のシルクエアーは、シルクエアーブランドの下、旅客にフルサービスで近距離路線向けの航空輸送を提供している。③格安航空子会社のスクートは2017年にタイガーエアと統合し、スクートブランドで世界60都市以上のネットワークを有する。④航空貨物輸送を行うSIAカーゴは、国際航空貨物輸送では世界3位を占める。⑤シンガポール取引所に上場する子会社のSIAエンジニアリングは、航空機のメンテナンス、修理、オーバーホール（MRO）の業界リーダーの地位を占め、世界80社以上の航空機のためにMROサービスを提供する。

企業データ（2021/3/8）

ベータ値	1.17
時価総額（百万SGD）	15,448
企業価値=EV（百万SGD）	19,403
3ヵ月平均売買代金（百万SGD）	37.9



（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

主要株主（2021/3）　（%）

1.NAPIER INVESTMENTS PTE LTD	33.25
2.ﾃﾏｾｸ･ﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ	22.17
3.ﾌﾞﾗｯｸﾛｯｸ	1.43

（出所:Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

リサーチ部

笹木 和弘

+81 3 3666 6980

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】
本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社　〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 4 番 2 号
TEL:03-3666-2101　　URL：http://www.phillip.co.jp/
本レポートの作成者：公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘
リサーチ部　李　一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則　平 14.1.25」に基づく告知事項＞
・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。